

科目番号	GA102				
科目名	森林政策				
担当教員	芳賀 大地 (鳥取大学農学部)、金子 哲朗 (森林大学校専任教員)ほか				
科目区分	経済・法律等		人材養成の方針	即戦力	リーダー 地域貢献
対象学年	1年		授業形態	講義・演習	
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	単位数 2
授業時間数	15		コマ		(30 単位時間)
実務経験のある教員による授業科目			○	左の実務経験の内容	県で森林林業の政策、施策立案に従事
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無			○	左の実務経験の内容	国、県で林業政策、施策立案に従事
実務経験を活かした授業内容	国、県で森林林業の政策、施策立案に携わった経験を活かし、森林林業の現状と課題、現在行われている最新の対策について学ぶとともに、グループ討論を通じて政策立案の過程を体験する。				

目的	森林、林業政策の歴史と現状を学び、史学的見地をもって未来への課題に取り組む力を養う。				
概要	身近な森林の成り立ちについて、どうして現在の姿になっているかを紐解きながら、現状の課題をとらえ、課題解決に向けてどうすればよいか、討論を交えながら授業を展開する。				
キーワード	①森林と地域社会 ②森林・林業の政策史 ③民有林と国有林 ④担い手の育成				
関連する科目	森林林業概論				
到達目標	<input type="checkbox"/> 森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得 <input type="checkbox"/> 森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得 <input type="checkbox"/> 多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得				
評価方法	レポート50%、テスト30%、出席・態度20%				

授業計画	テーマ	講義内容
1	持続可能な森林管理	持続可能な森林管理の意味と、この概念が重視されるようになった背景
2	世界における森林と人との関わり	世界の森林変化の動向
3	戦後木材需要	戦後木材需要の動向
4	戦後木材供給	戦後木材供給の動向 需要の動向と合わせて理論的に説明できるようにする。
5	社会と森林政策1	20世紀までの森林政策動向
6	社会と森林政策2	近年の森林政策動向
7	森林所有と森林管理	所有形態毎の森林管理の動向
8	森林計画制度と規制と助成	森林計画制度と規制と助成について、現状と課題について
9～10	森林・林業の現在1	国の林業施策 国有林の森林経営 兵庫森林管理署の取組
11～12	森林・林業の現在2	民有林の現状と取組(県の森林林業施策)
13～14	まとめ	森林・林業白書によるまとめ
15	テスト	森林・林業白書から出題

テキスト	講義の際に資料を配付する
参考書	・永田信 (2015) 林政学講義. 東京大学出版会, viii, 166頁. ・遠藤日雄 (2012) 現代森林政策学. 改訂. 日本林業調査会, 340頁
関連する資格	森林情報士2級
備考	